



(I) 現代社会を生きる私たち

■ 現代社会を生きる課題

- ・ [1]] (米：精神分析学者) ← 頻出人物



青年期は [2]]



[2]]とは[3]]という意味を持ち、成人としての社会的責任や義務が免除されている間に経験を重ねることが自己形成に繋がるとされている。

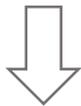
しかし近年は、グローバル化や社会の高度化を背景に、多様な学びが必要になったことで、学校から仕事への移行([4]])が困難になった一面がある。→フリーターや[5]]の増加
大人になる準備が不足し、**ピーターパンシンドローム**や**シンデレラコンプレックス**に陥る青年も出現。

■ 現代社会の特徴

- ・ [6]]…近代社会において、人々を包み込んできた社会のしくみが、流動して変化する様子
- ・ [7]]…社会集団の結びつきや共通の価値基準が失われ、自由の反面に自己責任が原則となる様子

(II) キャリアの開発

- ・ [8]]…余暇の楽しみや趣味、家事・育児などの家庭生活、地域社会の活動、退職後の過ごし方などを含む、個人の生き方の履歴のこと



自分自身の[9]]を踏まえ、他者や社会のかかわりの中で**生きがい**を作り上げていく！

- ・ [10]]…キャリアを形成する場で担う自分の「役割」
人から与えられた役割だけでなく、自主的に行動することで得られる立場や役割は自己形成に大きな影響を及ぼす。
(例) [11]]：自発的に他者や社会に貢献する活動に参加すること
[12]]：貧困・環境・まちづくりなど社会問題解決を目的としたビジネス
- ・ [13]](市民性)…自ら社会に参画し、社会を形成しようとする姿勢や資質のこと

Column NPO・NGO とは？

NPO (非営利団体) とは「Non-Profit Organization」あるいは「Not-for-Profit Organization」の略称であり、その名の通り非営利の組織を表しています。厳密には収益を目的に事業を行うことは認められていますが、収益に関しては、構成員で分配することはできないと定められています。収益が出た場合も次の活動への資金に充てるとして、あくまでも社会貢献を最優先する団体です。法律に基づいて法人格を取得したNPOが「特定非営利活動法人」、すなわち「NPO 法人」と呼ばれています。海外で活動する組織は**NGO (非政府組織)**と呼ぶこともありますが、両者に明確な違いはありません。具体的な組織を調べてみると、イメージがより膨らむでしょう。

Work📌 自分のライフサイクルをイメージしてみよう

STEP1 みんなはどんな 40 歳でいたいですか？想像してみよう。

40 歳の自分(趣味・プライベート)	40 歳の自分(家庭)	40 歳の自分(仕事)
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

STEP2 STEP1 で描いたイメージを実現するために、努力すべきことを逆算してみよう。

特に大事だと思ったものには、項目の前に印をつけておきましょう。

30 代ですべきこと(中堅社会人、家庭環境の変化)



20 代ですべきこと(大学卒業～若手社会人、家庭の変化?)



大学時代にすべきこと



高校時代にすべきこと

何事も「逆算の思考法」は大切。目標をもってそこに至るまでに何をすべきかと考えることで、最短距離で目標に到達することができる。

STEP3 STEP2 を簡潔にまとめグループ内で共有しよう。いいと思った考え方や意見をメモしておこう。



(I) 現代社会を生きる私たち

■ 現代社会を生きる課題

- ・ [1 **エリクソン**] (米：精神分析学者) ← 頻出人物



青年期は「**2 モラトリアム**」



「**2**」とは「**3 猶予期間**」という意味を持ち、成人としての社会的責任や義務が免除されている間に経験を重ねることが自己形成に繋がるとされている。

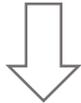
しかし近年は、グローバル化や社会の高度化を背景に、多様な学びが必要になったことで、学校から仕事への移行([**4 トランジション**])が困難になった一面がある。→フリーターや[**5 ニート**]の増加
大人になる準備が不足し、**ピーターパンシンドローム**や**シンデレラコンプレックス**に陥る青年も出現。

■ 現代社会の特徴

- ・ [**6 リキッド・モダニティ**]…近代社会において、人々を包み込んできた社会のしくみが、流動して変化する様子
- ・ [**7 個人化**]…社会集団の結びつきや共通の価値基準が失われ、自由の反面に自己責任が原則となる様子

(II) キャリアの開発

- ・ [**8 キャリア**]…余暇の楽しみや趣味、家事・育児などの家庭生活、地域社会の活動、退職後の過ごし方などを含む、個人の生き方の履歴のこと



自分自身の[**9 ライフサイクル**]を踏まえ、他者や社会のかかわりの中で**生きがい**を作り上げていく！

- ・ [**10 ライフ・ロール**]…キャリアを形成する場で担う自分の「役割」
人から与えられた役割だけでなく、自主的に行動することで得られる立場や役割は自己形成に大きな影響を及ぼす。
(例) [**11 ボランティア**]：自発的に他者や社会に貢献する活動に参加すること
[**12 ソーシャル・ビジネス**]：貧困・環境・まちづくりなど社会問題解決を目的としたビジネス
- ・ [**13 シティズンシップ**] (市民性)…自ら社会に参画し、社会を形成しようとする姿勢や資質のこと

Column NPO・NGO とは？

NPO (非営利団体) とは「Non-Profit Organization」あるいは「Not-for-Profit Organization」の略称であり、その名の通り非営利の組織を表しています。厳密には収益を目的に事業を行うことは認められていますが、収益に関しては、構成員で分配することはできないと定められています。収益が出た場合も次の活動への資金に充てるとして、あくまでも社会貢献を最優先する団体です。法律に基づいて法人格を取得したNPOが「特定非営利活動法人」、すなわち「NPO 法人」と呼ばれています。海外で活動する組織は **NGO (非政府組織)** と呼ぶこともありますが、両者に明確な違いはありません。具体的な組織を調べてみると、イメージがより膨らむでしょう。

Work ④ 自分のライフサイクルをイメージしてみよう

STEP1 みんなはどんな 40 歳でいたいですか？想像してみよう。

40 歳の自分(趣味・プライベート)

- 沢山旅行に行きたい
- スポーツをしたい
-

40 歳の自分(家庭)

- 妻が欲しい
- 自分の家をもちたい
-

40 歳の自分(仕事)

- 必要とされるポジション
- 後輩の頼りになる存在
-

STEP2 STEP1 で描いたイメージを実現するために、努力すべきことを逆算してみよう。

特に大事だと思ったものには、項目の前に印をつけておきましょう。

30 代ですべきこと(中堅社会人、家庭環境の変化)

- 旅行や家の購入を踏まえた、資金計画を立てる
- 家庭の時間を大切にできるよう、仕事との両立を意識する
- 旅行やスポーツを一緒に楽しめる友人を、大切にする



20 代ですべきこと(大学卒業～若手社会人、家庭の変化?)

- 安定した収入を得られる職業に就いて、パートナーを安心させる
- 価値観の合う人と結婚する
- 積極的に社会人スポーツの集まりなどに参加する



大学時代にすべきこと

- 職業を見据えた大学に進む
- 共通の趣味を持つ友人をつくる
- 営業やプレゼンに興味があるので、PowerPoint などの最低限のパソコン能力を身につける



高校時代にすべきこと

- 第一志望の大学に行ける学力を身につける。特に英語と国語は力を入れる
- 部活動を最後まで続ける
- ボランティア活動に参加し、職業選びの参考にする

何事も「逆算の思考法」は大切。目標をもってそこに至るまでに何をすべきかと考えることで、最短距離で目標に到達することができる。

STEP3 STEP2 を簡潔にまとめグループ内で共有しよう。いいと思った考え方や意見をメモしておこう。

-
-